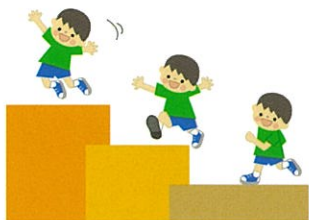


早めの気づきから 適切な対応を

乳幼児期は、いろいろな能力を獲得する時期です。そのため、早くからその子どもの特性や苦手さ・困難さに気づくことが大切です。

その上で、適切な対応をすることにより、可能性を伸ばしていくことができます。



発達サポートファイル

幼児期から大人になるまでの発達・成長の記録をまとめることができます。様々な相談

場面でご活用ください。

障害福祉課の窓口で配布しているほか、豊島区のホームページからダウンロードすることもできます。

発達サポートファイル



豊島区

相談窓口

《あらゆる年齢層からの発達障害に関する相談》

○障害福祉課 発達障害者相談グループ
豊島区南池袋2-45-1 03(4566)2445

《発達相談・子どもの問題全般に関する相談》

○西部子ども家庭支援センター
豊島区千早4-6-14 03(5966)3131
○東部子ども家庭支援センター
豊島区上池袋2-35-22 03(5980)5275
○豊島区児童相談所
豊島区长崎3-6-24 03(6758)7910

《乳幼児期の発育・発達に関する相談》

○池袋保健所 健康推進課
豊島区東池袋4-42-16 03(3987)4174
○長崎健康相談所
豊島区长崎3-6-24 03(3957)1191

《学校・教育に関する相談》

○教育センター
豊島区雑司が谷3-1-7
・就学相談 03(3590)6746
・教育相談 03(3971)7440

《障害児通所支援に関する相談》

○障害福祉課 児童・障害児支援グループ
豊島区南池袋2-45-1 03(4566)2451

《発達障害に関する全般的な相談、 地域支援・普及啓発事業》

○東京都発達障害者支援センター こどもTOSCA
世田谷区船橋1-30-9 03(6413)0231

発行：豊島区保健福祉部障害福祉課
電話：03-4566-2445 / F A X : 03-3981-4303
発行日：令和5年11月（改訂）

幼児期
向け

子どもの 成長と発達

～たくさんの可能性を伸ばすために～

お子さんのよりよい毎日のために今できる
ことを一緒に考えていきましょう！



SDGs 未来都市としま



豊島区
TOSHIMA CITY



豊島区は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

「子どもが困っていること」に 気づいていますか？

親が育てにくさを感じているときは、同時に子ども自身も困っていることがあります。

このような子どもの「困りごと」は、親の育て方や家庭でのしつけなどが問題で起こっているのではなく、生まれつきの特性によって起こっている場合があります。

たとえば、できることとできないことの差が大きかったり、家ではできることが幼稚園や保育園など集団の中ではできなかつたりする場合があります。

お子さんがどんな苦手なところを持っているのか、どんなことに困っているのかを知り、適切な対応をすることで子どもはすこやかに成長していきます。

少しでも気になる場合は、自分ひとりで解決しようとせず、まずは気軽に相談してください。



こんなこと、ありませんか？



まわりの人と

- 目と目が合いにくい
- ことばが遅い
- オウム返しやひとり言が多い
- ごっこ遊びやルールのある遊びが苦手
- 友だちに関心・興味がない
- 友だちをたたいたり、けつたりしてしまう
- 呼んでも振り向かない

くらしの中で

- おちつきがなく、目が離せない
- 好き嫌が多く、決まったものしか食べない
- 睡眠時間が短く、すぐに目をさます
- おとなのことばがけにこたえられない
- 味覚・におい・音に過敏である
- 急な変更でパニックを起こす
- 意味のない行動を何度も繰り返す
- こだわりが強く、切り替えができてにくい



少しでも気になることがある方は
いつでも相談してください。